

シ ラ バ ス

国語科	単位数	3	単位
科目 (古典B)	学科・学年・クラス	普通科(文系・国際理解)・第2学年ABC組	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	古典文法や重要古語など読解に必要な基礎事項を身につける。 長い文章を読み味わい、古典に親しむ態度を養う。
使用教科書・副教材等	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)、古文上達 (Z会出版) 他

2 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
前期	古典文法の基礎 (復習)	4	・音読によって文章のリズムを味わう。		第1回 考查
	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」		・文法の基礎となる助動詞や助詞を理解し、適切な口語訳ができるようにする。		
	故事・寓話「推敲」他		5		
	徒然草「ある人」他	6	・各章段を読み味わって、作者のものの見方・考え方について考え、作品に通底する作者の考え方の特色を理解する。		
	源氏物語「光る君誕生」	7	・女性の手になる長編物語を読んで、表現・文体や登場人物の倫理・判断などを捉える。		第2回 考查
<p>【課題・提出物等】 課題やノート・プリントの提出等、その都度指示します。</p>					
<p>【前期の評価方法】 定期考查・課題テストの成績に小テストの成績、提出物、授業態度等も加味し、総合的に評価します。</p>					
後期	項羽と劉邦 「四面楚歌」	8	・再読文字や重要句形など、漢文独特の文法事項を理解し、適切な口語訳ができるようにする。		第3回 考查
		9	・長い文章を、話の筋を追いながら読解する力を養う。		

大鏡 「弓争い」	1 0 1 1 2	・歴史物語としての特色を理解し、作者の的確な描写と、批判的態度を読み取る。		第4回 考査
名家の文章「雑説」		・本文の記述から状況を的確に押さえ、登場人物が何を考へどのように行動したかを読み取る。		
更級日記 「門出」		・文章を正しく読解し、作者の心の動きを知る。		
儒家の思想「論語」		・それぞれの思想家の考え方を比較し、特色を理解できるようにする。		
平家物語 「能登殿の最期」	1 2 3	・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・音便や挿入句といった、語り物の特色について理解する。		第5回 考査
三国志の世界 「三国志演義」		・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・漢文独特の誇張表現のおもしろさを理解する。		
万葉集 古今和歌集 新古今和歌集		・和歌に詠み込まれた心情を考える。		
【課題・提出物等】 課題やノート・プリントの提出等、その都度指示します。				
【後期の評価方法】 定期考査・課題テストの成績に小テストの成績、提出物、授業態度等も加味し、総合的に評価します。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	学力は日々の授業の積み重ねの結果、身に付いて行きます。できる限り自力で訳してみる習慣をつけましょう。
授業を受けるに当たり心がけてほしい事項	教科書・ノートの準備（予習・復習）、辞書の準備、心の準備をしっかりと！

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

みなさんの学習状況は、下の表の5つの観点で評価します。

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
a. 関心・意欲・態度	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出
b. 読む能力 c. 話す・聞く能力 d. 書く能力	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	・授業の取組 ・定期考査 ・課題考査
e. 知識・理解	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト 等

3 担当者からのメッセージ

古文・漢文には、昔の人が残した、あっと驚くような知恵やロマンがたくさん詰まっています。古典の魅力を味わえるように多くの作品と一緒に読んでいきましょう。